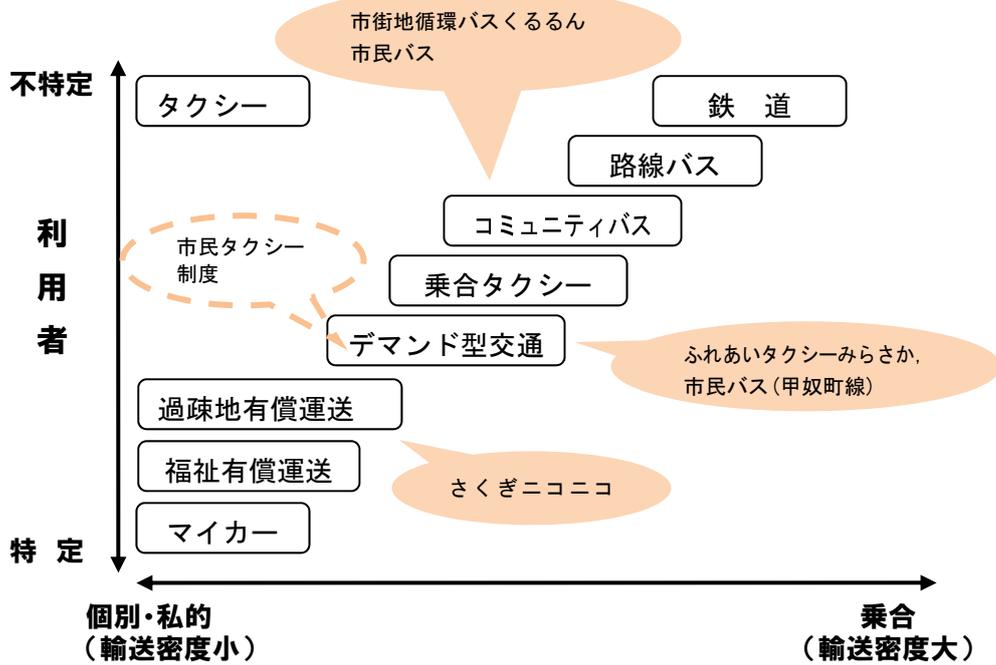


## 生活を守る地域公共交通の導入事例



資料：地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取組マニュアル（国土交通省，H24.3）

図 輸送機関別の需要と輸送力の関係

(主な事例)

交通システム		[地域]名称	特徴
定時	定路線	コミュニティバス	[大竹市] こいこいバス
		乗合タクシー	[広島市] やぐちおもいやり タクシー
デマンド 交通	定路線	乗合タクシー	[雫石町(岩手県)] あねっこバス
	区域運行	乗合タクシー	[大竹市] 三ツ石乗合タクシー
		乗合タクシー (過疎地有償運送)	[日立市(茨城県)] なかさと号
	定路線	乗合タクシー (バスアクセス)	[みよし市] 乗合タクシーサービス

# 1. こいこいバス（広島県大竹市）

資料：大竹市

運行タイプ 定時・定路線／コミュニティバス ※市街地循環バスと同様

事例ポイント 公募市民等の分科会が、市の幹線交通を創り、継続して守る

運行経緯・特徴  
 ○市街地を運行するバス路線がなかったことから、平成21年3月に策定した「大竹市地域公共交通総合連携計画」に「幹線＋支線」の公共交通体系を位置付けた。  
 ○「幹線バス」（現在のこいこいバス）を住民主導で検討するため、「幹線交通検討分科会」を設置。

- ◆分科会メンバー・・・公募9人 団体推薦4人 計13人（男性8人，女性5人）
- ◆実施経過 ○開催回数：11回（平成21年5月13日～10月5日）
  - 主な検討内容
    - ・ルート，ダイヤ等の運行内容に関する事項
    - ・料金，割引等サービス内容に関する事項
    - ・告知方法等の利用促進に関する事項 など
  - その他
    - 施設へのポスター設置依頼，広報車を用いた街宣活動など，分科会メンバーが実際に行動し，幹線バスの導入に向けて取り組んだ。

○H21年10月26日に運行が開始した後も，継続して分科会を開催し，利用促進に取り組んでいる。

運行の概要  
 【運行ルート】1ルート（2台で上り／下りを運行）  
 【運行日】毎日運行  
 【便数】平日17便，土日祝16便（片道）  
 【車両】小型ノンステップバス  
 【運賃】大人200円，小学生100円  
 【運行主体】大竹市  
 【運行事業者】民間タクシー事業者  
 （H27.7現在）



## 2. やぐちおもいやりタクシー（広島県広島市）

資料：広島市

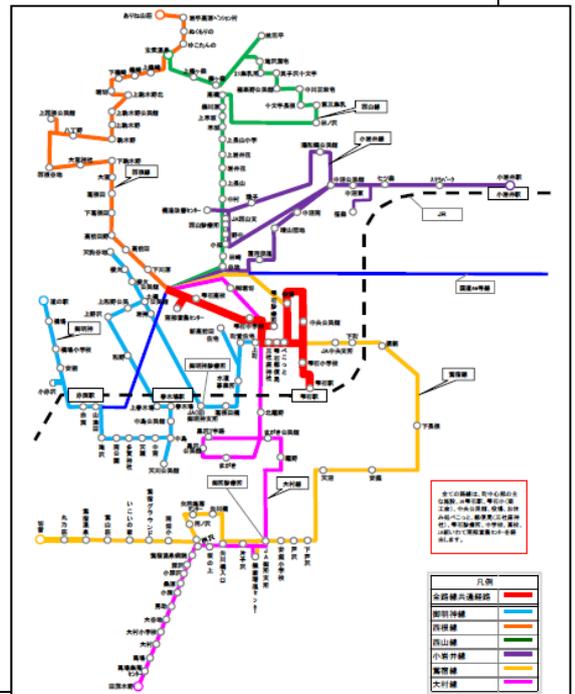
運行タイプ	定時・定路線／乗合タクシー
事例ポイント	住民と地域に根ざしたタクシー事業者との連携で運行が実現
運行経緯・特徴	<p>○導入地域は急な坂道が多く、高齢化も進んでいるが、路線バスの乗り入れがないため、生活交通の確保が課題だった。そこで、ふじランドと上矢口地区が住民へアンケート調査を実施したところ、地域内を循環する乗合タクシーの導入を希望する意見が多かったことから、地元のタクシー会社に運行を依頼し、タクシー会社の協力で、平成15年8月から運行が開始した。</p> <p>○その後、利用が伸び悩んだため、平成16年6月、中国運輸局、学識経験者、地域の代表（町内会、社会福祉協議会、老人クラブ）、運行事業者と広島市で構成する「やぐちおもいやりタクシー活性化検討委員会」を設置し、住民アンケートの結果を基に、利便性を向上させ利用者を増やすための改善策について、メンバーが膝をつき合わせて協議した。</p> <div data-bbox="252 824 1433 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行経路・・・沿線団地への新規乗り入れ、運行経路延長</li> <li>■ダイヤ・・・最終便の繰り下げ、土曜午後・日祝の運行</li> <li>■運行環境・・・携帯電話を活用したデマンド型運行の一部導入</li> <li>■運賃・・・往復割引券の発行（当日限り復路100円）※ 実験運行前は往復割引なし</li> <li>■商業施設との連携・・・やぐちおもいやりタクシーを利用し協賛商業施設で2千円以上の買物をした人の復路運賃（100円）を商業施設が負担（住民が施設と交渉して実現）</li> </ul> </div> <p>○その後も必要に応じて、検討委員会のメンバーを中心とした情報交換会を開催し、利用状況等の確認や活性化策の検討を行い、適宜、路線やダイヤの変更等を行っている。</p>
運行の概要	<p>【運行ルート】          [奇数便] レッツ前～ふじランド～上矢口地区～梅園団地～商業施設・医療機関～JR安芸矢口駅～レッツ前（8.8キロメートル、30分）          [偶数便] レッツ前～ふじランド～上矢口地区～梅園団地～商業施設・医療機関～JR安芸矢口駅～レッツ前～ふじランド～上矢口地区（10キロメートル、34分）</p> <p>【運行日】 平日運行</p> <p>【便数】 平日12便、土日祝運休</p> <p>【車両】 ワンボックスカー</p> <p>【運賃】 300円（当日限り往復400円〔復路100円〕）          ※やぐちおもいやりタクシーを利用し協賛商業施設で1500円以上の買物をした人の運賃（100円）を商業施設が負担</p> <p>【運行事業者】 民間タクシー事業者          （H27.7現在）</p>



### 3. あねっこバス（岩手県雫石町）

資料：雫石町、国土交通省HP

運行タイプ	デマンド・定路線／乗合タクシー
事例ポイント	デマンドで不可欠な電話の代行サービスや専用電話を設置
運行経緯・特徴	<p>○雫石町では、岩手県交通株式会社が町内で完結する全てのローカルバス8路線について平成16年3月末に運行が打ち切れ、交通弱者である高齢者への十分な住民輸送サービスが確保できなくなることが予想された。</p> <p>○かかる状況から、雫石町では平成15年度に「雫石町生活交通対策提言委員会」を設置し、“町の将来の生活交通はどのようにあるべきか”について町民代表の方々に提言してもらった。</p> <p>○この提言を機に、平成16年4月から電話予約制の新たな地域交通システムである あねっこバスの運行を開始した。（平成15年度に策定した「わが町、雫石のこれからの生活交通ビジョン」の中の基本コンセプト「地域資源を活かした交通手段の確保」, 「NPOと地元企業との連携による輸送システムの導入」に基づいて導入）。</p>
運行の概要	<p>【運行ルート】 6ルート（御明神線、西山線、西根線、小岩井線、鶯宿線、大村線）</p> <p>【運行日】毎日運行</p> <p>【便数】平日6便、土日祝3便（片道）</p> <p>【車両】ワンボックスカー4台、セダン型2台</p> <p>【運賃】200円、小学生100円 ※回数券あり</p> <p>【予約】発車時刻の30分前（冬季は1時間前）までに申し込みが必要（受付時間：午前8時～午後6時） ※予約代行サービス：高齢者や障害者など予約が不便な方には、目的地の停留所から帰宅する際に、役場や郵便局、病院、銀行、商店などの施設で予約電話をかけてくれる ※予約専用直通電話：雫石町健康センター（雫石診療所）、雫石町役場、雫石銀河ステーション（雫石駅）、道の駅雫石あねっこ に専用電話を設置（受話器を上げるだけで予約センターへつながる、料金無料）</p> <p>【運行主体】しずくいし・いきいき暮らしネットワーク 【運行事業者】民間タクシー事業者 (H27.7現在)</p>



## 4. 三ツ石乗合タクシー（広島県大竹市）

資料：大竹市

運行タイプ デマンド・区域運行／乗合タクシー

事例ポイント 住民組織が主導的に協議を重ねて、これに行政が支援して運行実現

運行経緯・特徴  
 ○三ツ石地区は、大竹市の沿岸部から約1 kmの山間に位置しており、距離は短いものの、急峻な坂道が続き、公共交通を望む声が高くなっていった。  
 ○そのため、H20年3月に「ワーキング委員会」（参加3名）を立ち上げ、全世帯アンケートを実施するとともに、その後6月に「公共交通プロジェクト委員会」を立ち上げ（参加15名）、協議を重ねた。

【協議回数】 ・ワーキング委員会 24回  
 ・プロジェクト委員会 6回  
 ・全体会議（全住民）5回  
 ※市職員も参加し、検討を支援



手作りの出発式

○ワーキング立ち上げから18ヶ月後のH21年10月に三ツ石乗合タクシーが運行開始。その後も住民主導で、維持・活性化に努めている。

運行の概要  
 【運行ルート】  
 三ツ石地区～市役所・ゆめタウン  
 【運行日】月・火・金  
 【便数】行き5便、帰り6便  
 【車両】セダン型車両  
 【運賃】350円  
 ※チケットを事前購入（車内で販売）  
 【予約】20分前までに予約  
 ※運行するタクシー事業者の予約センターで受付  
 【運行事業者】民間タクシー事業者（H27.7現在）

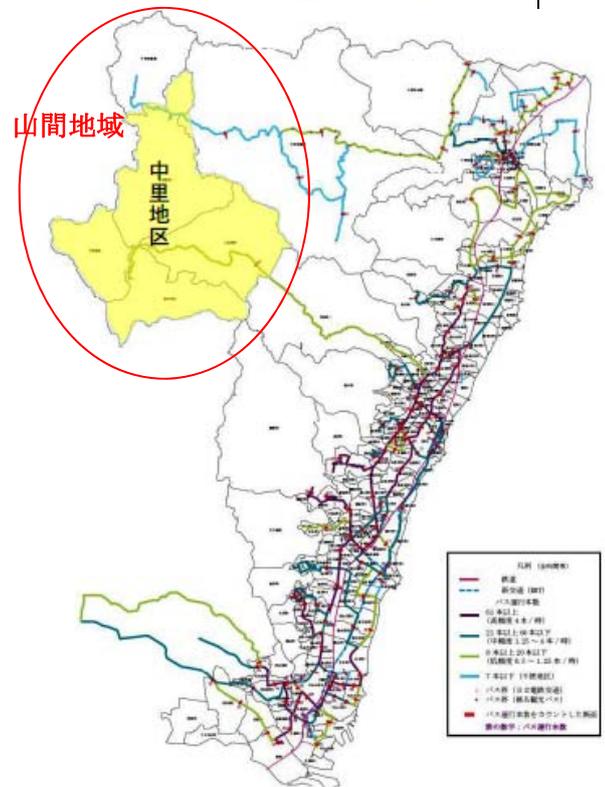
なお、乗合タクシーなので、住民へは、できるだけ2人以上での利用をお願いしている。



## 5. なかさと号（茨城県日立市）

資料：日立市、国土交通省HP

運行タイプ	デマンド・区域運行／乗合タクシー ※過疎地有償運送
事例ポイント	NPOの会費（全世帯より徴収）を運転員の人件費などに充てている
運行経緯・特徴	<p>○日立市西部の中里地区は、公共交通空白地域で、高齢者等の足を確保するため、日立市社会福祉協議会が実施主体となってデマンド型乗合タクシーを運行していた。</p> <p>○その後、懇談会やシンポジウムを開催し、「責任と費用の分担」について議論を高め、利用者からの声によって、地域が自分たちで考え、判断することとなり、地域が乗合タクシーを運行するためのNPO法人（助け合いなかさと）を平成21年5月に設立した。</p> <p>○運行に際しては、全住民からNPOの会費（1世帯約2,000円/年）を徴収し、オペレーターや運転員も地域住民で行っている。</p>
運行の概要	<p>【運行区域】 日立市 下深荻町，中深荻町，入四間町，東河内町，滑川町3163-9（鞍掛山霊園）</p> <p>【運行日】平日のみ</p> <p>【便数】4便</p> <p>【車両】ワンボックスカー</p> <p>【運賃】高校生以上300円，小中学生150円</p> <p>【予約】</p> <p>【運行事業者】NPO法人「助け合いなかさと」 ※地域住民などが運転手を担当 (H27.7現在)</p>



デマンド予約は地域の方による手作り地図

## 6. 乗合タクシーサービス（愛知県みよし市）

資料：みよし市

運行タイプ	デマンド交通・定路線／乗合タクシー
事例ポイント	幹線を担う「さんさんバス」へのアクセスを主たる目的とする乗合交通
運行経緯・特徴	<p>○コミュニティバス「さんさんバス」でカバーできない末端地域について、乗合タクシーで停留所まで運ぶ。</p> <p>○具体的には、利用20分前までにタクシー会社へ電話で予約をした上で、乗合タクシーの乗り場までは自身で移動し、さんさんバスの停留所までタクシーを利用。</p> <p>○料金はタクシーから降りる際に100円を支払い、乗車券をもらって、さんさんバスへ乗り継ぐため、バスのみを利用する場合と同じ運賃で利用できる。</p> <p>○帰りに同サービスを利用する場合の連絡は、バスの運転手から無線でタクシーへ連絡するという手段をとっている。（事業者が同じため実現可能）</p>

運行の概要	<p>【車両】タクシー（空きタクシーを活用）</p> <p>【運賃】大人100円（バスと連絡する場合、バスと合わせて100円）</p> <p>【運行事業者】民間タクシー事業者（H27.7現在）</p>
-------	--

### さんさんバス「乗合タクシーサービス」のしくみ

